

○海福院〔一宙和尚を勧請して開基とす、檀越福島左衛門正則。書院の襖唐紙の上に、探幽法印酒狂して墨画にて猿廻しの図を画く。住持外より帰りてこれを見るに、新しき唐紙に猥に草画を書事不敬の至りなりと、大に憤りて叱られる。探幽法印詞なくして恥入たる体なり、其筆力精妙にして画工の規範ともなり、後世これを賞じて此寺の名物とす。又客殿の画は山水、唐子遊、百牛、廿四孝、これみな狩野興意の筆なり〕